

さいたま緑のトラスト協会 0号地・緑のサポート隊、第8回定例会議事録

令和5（2023）年7月19日 <出席者6人>

一 事務局から

① 今年度のボランティアセミナー、受講希望者が少ないので、知人への声かけやお誘いへの協力要請があった。このほか飯能河原一斉清掃、県庁オープンデイなど今後のスケジュールが報告された。

② 7月9日（日）に行われた14号地（三芳町）の「森の散策とクラフト体験＝トラスト協会と三芳町の共同主催」が、53人（子供32人）の参加でクラフトコーナーも盛況であり、三芳町から感謝の言葉も頂戴して無事終了したとの報告があった。

※ トラスト協会（14号地、仲間代表）と三芳町の共催だが、以前から保全活動をしてきているグリーンサポート隊（原代表）も加わってのイベントのため、正味2時間程度のイベントよりは、保全体験なども含め、もう少し規模を拡大することも提案したい。

一 7月2日（日）、昨年につき2回目になるが東京・練馬区の江古田幼稚園に園児も楽しみにしているとの七夕用の竹を提供。窓口の加藤さん宛にお礼と飾り付けた写真が届けられた。

※ 竹林を保全地内に竹林を持っている号地を中心に、七夕を季節行事として地域の若い家族とのつながりやトラスト運動の普及を含め、竹の活用を考えたい。

一 10月22日（日）・さいたま市みどりの祭典、11月14日（火）を中心に出展プログラムごとの準備スケジュールをチェックした。

※ (1)9月中旬からどんぐりなど木の実集めを本格化する。木の実に産み付けられた卵を孵化させないための処理などがあるため0号地スタッフが中心となって収集する。(2)ガリガリトンボの準備では釘穴の過不足に要注意。(3)県庁オープンデイへの出展は会場が手狭なので鉛筆ブローチ、どんぐりストラップ、木ごまなどスペースを取らない出展物に絞り込む。などがひとまず確認された。

一 本日の作業として、みどりの祭典を見越したパタパタの準備をスタート。鉛筆ブローチは引き続き個数を増やす。

一 次回例会は8月2日

以上